

ASEAN 交流会

10月26日(土)に日本ASEANセンターのご協力でASEAN交流を行いました。今年度は、ベトナム、カンボジア、ミャンマー、フィリピン、マレーシア、タイ、インドネシア出身の講師に来ていただきました。各クラスで、講師の出身国の食べ物や服装といった文化について話を聞き、民族衣装の試着、伝統的な化粧の体験、手遊びやゲームなどを楽しみました。講師の皆さんは、流暢な日本語で分かりやすく説明し、質問にも丁寧に答えてくださいました。親しみを感じてか、帰ろうとする講師に話しかける子供たちもいました。この交流が、海外に目を向け、日本のよさを見直すきっかけになってくれることを願っています。



(国際科担当 緒方 理子)

移動教室 —6年生—

12日(火)~15日(金)の4日間、箱根移動教室に行ってきました。

1日目の昼食は、カレー作りに挑戦しました。班の友達と仕事を分担しながら、協力して調理していた子供たち。薪で火を起こしたり、飯盒でご飯を炊いたり、初めての体験がたくさんのカレー作りでしたが、自分たちの作ったカレーをうれしそうに食べている姿が印象的でした。

2日目は、旧街道の石畳を歩きました。昔の旅人に思いを馳せ、当時の苦勞を感じるとともに、江戸時代と現代の違いに気付くことができました。箱根彫刻の森美術館では、足湯で温まったり、ネットの森で思う存分楽しんだりしながら、自分のお気に入りの作品を探しました。

3日目は、事前学習で準備してきた課題別学習を行いました。歴史・自然・地形・交通・産業の5つのグループに分かれて、体験や経験をしてきました。それぞれの見学場所では、子供たちの興味を引き出しながら、詳しい話をしていただきました。子供たちは、学習を深めるとともに、学んだことをしっかりまとめて発表しようと、意欲を高めていました。

4日目は、畑宿寄木会館や箱根関所資料館を見学し、箱根の歴史や文化に触れることができました。また、生命の星・地球博物館では、展示物に実際に触りながら46億年にわたる地球の歴史と生命の多様性について学ぶことができました。

4日間の集団生活を通して、時間を意識することや先を見通すことの大切さを感じ、一段と成長した子供たち。移動教室での学びをこれからの学校生活に生かしてくれることを期待しています。

(6年担任 田邊 あゆみ)

御成門中学校との交流 —5年生—

10月23日(水)に、御成門中学校の合唱コンクールリハーサルを見学しました。本番同様の緊張感の中、全校での校歌の合唱、学年での合唱、学級での課題曲の合唱を聴きました。子供たちは、中学生の美しい歌声に感激していました。歌声だけでなく、歌う姿勢や強弱の付け方も素晴らしく、学級や学年の一体感が伝わってきました。



聴き終わったとき、子供たちからは、「きれいな声だった。」「音の強弱に迫力があった。」「それぞれのパートの音が重なっていてとてもきれいだった。」という声があがりました。今月は、いよいよ音楽会です。中学生の歌う姿を目標にしながら、5年生の合唱練習も気合いが入ってきています。聴いていただくお客様を感動させられるような合唱に仕上げたいと思います。

(5年担任 小林 沙祈)

新しい学習にドキドキ・ワクワク —3年生—

今年から毛筆、理科、社会科や御成門の時間と新しい学習が始まりました。新しいことに興味津々な子供たちです。毛筆では、初めて筆をおろすときはとても緊張していましたが、今では筆の動きを楽しみながら筆を動かしています。理科では、これまでに身の回りの自然を中心に植物や昆虫、太陽などを対象に学習してきました。「日なたは温かい、それはなぜ」と、日常生活の中で当たり前のように感じていたことを理科として学習しました。社会科では方位を学習し、学校の周辺を方位に気を付けながらフィールドワークをしました。また、港区内の様子を学習し、学習のまとめとして東京タワーから港区を見学しました。2学期はスーパーマーケットを見学し、私たちの暮らしと店との関わりを調べました。ものを売る仕事の工夫をいろいろと見つけることができました。御成門の時間では、理科や社会科など各教科で学習したことを基に、地域を学習の場としてフィールドワークを続けています。1学期には愛宕神社のほおずき市を見学したり、大門方面を歩いたりしました。地域にどんなものがあり、どんな人がいるのか、またどんな生き物がいるのか、今後も引き続き調べていきたいと考えています。



研究発表

11月1日(金)、港区教育委員会研究奨励校の研究発表を行いました。当日は、PTAの方や多くの保護者の皆様のご協力もあり、子供たちの主体的に算数の学習に取り組む姿を多くの先生方に見ていただくことができました。

本校では、来年度からの完全実施となる学習指導要領の内容を踏まえた上でどのように授業を行っていけばよいのか、3年間、算数の教科を通して、授業研究を行ってきました。次の学習指導要領のキーワードは「主体的」、「対話的」、「深い学び」です。主体的に学習に取り組む児童、対話を通して学び合う児童、深い学びを実現する児童を育てるためにはどのような授業を展開していけばよいのか、またどのように個別への支援をしていけばよいのか等について、議論を重ね、授業をつくってきました。

子供たちは、この3年間で、課題について見通しをもって自力で課題を解決しようとしたり、学習したことを自分の言葉で振り返ることで、学びを自己評価したりすることができるようになりました。また、自分の考えについて、根拠をもって説明したり、友達の考えの共通点、相違点を考えながら、自分の考えや集団の考えを広げたり深めたりする姿が見られるようになりました。さらに、全体での意見交流やまとめ、振り返りを行う過程で、これまで学習したこととその時に学んだことはつながることに気付いたり、その時に学んだ内容を踏まえて発展的に考えたりする姿も見られるようになりました。

今後は、この研究の成果を生かして、他教科でも「主体的」、「対話的」、「深い学び」をキーワードにして、授業を行っていききたいと考えています。

(研究主任 町田 真由美)

